

発行責任者

秋月 勝美

〒356-0006 上福岡市霞ヶ丘1-4-17-305

TEL 0492-66-6231



平成十三年度秋月会長「挨拶」

〔C18〕 秋月 勝美

今年も昨年同様不況の予想で、我々業界も頭の痛い年度になりそうなの、会員の皆様には一壮健にてお過ごしのことと存じます。扱て今年度は、土木科工業化学科共同で、会の運営を担当することにいたしました。ご承知のように少人数の会員のため、会長選出が難航しましたが、私がお引き受ける事となりました。会長としては、関東浪速工業会創設以来の、高齢者会長出現の珍事ですが引き受けました以上老骨に鞭打ち、事務局を始め各科幹事諸兄のご援助を賜り、年間の行事を消化し会の発展のため努力致す所存です。毎年の事ながら、歴代の会長より会の若返りについて討論されて来ましたが一向に反応が無い有様です。会員数は昨年の総会時点で618名ですが総会出席者は50名程度で非常に淋しい状態でした。今年は若手会員の参加を増やす事に取り組んで行きたいと思っております。会員諸兄に申し上げたい事は、俗に言う「同じ釜の飯を食った仲間じゃないか」堅苦しく考えずに今年の総会には、未だ出席されてない方は勿論同級生の方々にも一言、三言声をかけて頂き大勢の出席者のもと盛大に総会を開催が出来ましたなら、お世話をしています幹事に取りましても

やりがいがあったと喜んで戴けることと思えます。大変くどいようですが御協力くださるようお願い致します。

会員名簿も出上来りすのでに総会の出席者にはお渡ししておりますが、必要な方は各科幹事まで申し込みください。又当会の運営資金は浪速工業会本部より会費納入者(関東居住者)数に対しての一部還元金にて賄われています。会費は忘れずに納入下さるようお願い致します。挨拶にしましては余計な事まで申し上げ過ぎましたが、幹事一同、会の運営のため真剣に取り組んでいこうと事をご理解戴き、今後とも協力下さる様お願い申し上げます。会員諸兄の御健闘と御健勝を祈念致し、ご挨拶を終わります。以上

楽屋つれづれ

〔M21〕 金田龍之介

佐倉井先輩

尾西市民会館に名鉄寄りの入り口よりバスで9:50出発。半田の佐倉井先輩観劇に見えた。他に春日井の高利愛子さん先日祝電の礼もかねて黙頭持参で観劇。スタッフがカレライスを作つたが佐倉井先輩と外出して話していたので、日曜日で何も無くやつと見つけたコーヒ店に入ったらカラオケを小母さんがががが歌っていて話にならぬ。頼んで十分程歌を止めて貰う

た。また会館ロビーに戻りしばらく都工万葉集の話をして別れた。

先輩と逢うて列れる秋の小屋
半熱の卵に涙の孤独かな

高利愛子さんの在所で終演後食事に誘われたがバスで帰名するの断念。尾西市民会館楽屋は狭小だったが昔の旅公演を想起して楽しかった。名古屋駅近くのサウナに行く。帰路大出氏に会う。夕刊買いにフロントに行つたが日曜日で無し。朝9:15発新幹線で浜松へ。バスで磐田に向かう。名古屋の山田舜博氏「今こちらに住んでいる」と会館に来られジュースの差し入れあり。近所のコーヒ専門店に行き暫く話が弾む。同じく名古屋のクラブのチーママだった青山さん夜の部観劇。又コーヒ店に行く。磐田は上品な小都市の感あり。しつぱい太郎の祭りがあつたそう。これは信州駒ヶ根の早太郎という、村の娘を人身御供にする鬼を山の社で退治して救つた子犬の伝説とよく似ている話だと思つた。同根の伝説ではないか。終演後バスが浜松に数分遅れつき名古屋行きこだまのれず、小一時間待たされた。待合室で時代劇テレビを見ながら弟子と駅弁を食べて待った。こんな事も亦面白かつた。

浜名湖の水切る小舟秋日和
時計台の長針運る秋の路

(走り書き)何年振りの知人が観劇し、又さよならと別れる。私は座席の背に体をもたせかけ、

暫く呆然と暗がりの車窓を見つめていた。フランク永井の歌みたいだな。古いというなけれ。心地よき秋風の夜の列れかな
秋の夜の夢を成してバス窓らぬ

〔次号へ続く〕

金田龍之介「都工万葉集」

〔A47〕 西口 勝臣

機械科卒で俳優の金田龍之介

さんが、都工出身の皆さんの都工時代の思い出話の原稿を募集されています。都工卒業生から見た生の都工の歴史・人物像を多くの方からお寄せいただき、「都工万葉集」として残していこうという発案とお聞きしております。テレビの「徹子の部屋」に出演された時にも呼びかけられ、かなり集まってきましたが、機械電気科・普通科・女性卒業生の方などの投稿が少なとのこと。他科の方も含め、多くの方々の投稿をお願い致します。投稿先: 〒343-0838 埼玉県越谷市蒲生4-16-15 金田 龍之介

母校新校舎を訪問して

〔E36〕 馬江 治喜

この度、母校が新築されてから、校舎の内側を見る機会があり始めて訪問させていただいた。その機会というのも昨年六月十五日に電気科の青嵐会の総会(大阪北区の弥生会館にて開催)に出席いたし同級生の森田氏がもう一期会長を務めることになり激

励に参加した次第です。その席には浪速工業会の西岡会長を始め事務局方、蔵重学校長及び川上教頭、電気科の先生も多数御出席されてました。その席で森田会長の計らいで、小生にも挨拶の場を設けて頂き、関東浪速工業会の現状を発表させていただきました。関東は既にパソコンを導入している為、本部でパソコンを導入した際、ソフト等ネット関係については関東の方とよく打ち合わせして頂くようお願いいたしました。又関東へ返還金を送金される際、納入者の卒年、卒科氏名を御連絡いただくように依頼した。翌日森田会長の案内で新築された母校の新校舎を見学させていただきました。校門を入ると昭和天皇の御臨席碑が昔のまま設置されていた。その横から本館に入ったが本館の中は全く明るくきれいなものであった。玄関の右側にシヨウケース(浪速工業会寄贈)が有り、その中にはクラブ等が活躍して戴いた記念品が入っていた。本館より左の方へ行き電気科別館の方へ案内された。別館は4階建てで1階が電気機械実習室、電気工事工作室が2部屋つづあり電気機械実習室はホイストクレーンがありモーターも新しい物が設置されていた。電気工事工作室では配線実習板があり配線工事材料が整理整頓されて保管してあった。2階は職員室と電気磁気実習室、3階は教室と製図、計測各実習室、4階は電子計算機

